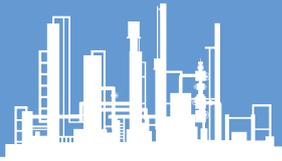


事業について

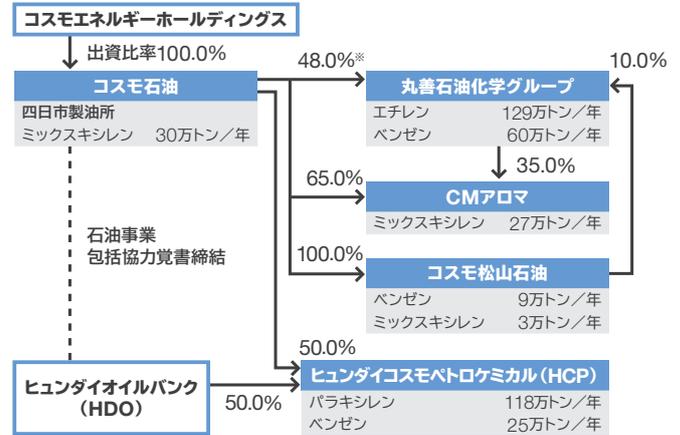
石油化学事業



事業概要

コスモエネルギーグループは、石油化学事業と石油精製事業の一体運営を進め、コンビナート全体の競争力を高めるべく、2016年3月に丸善石油化学を連結子会社化しました。また、韓国のヒュンダイオイルバンク (HDO) とコスモ石油との合併会社であるヒュンダイ・コスモ・ペトロケミカル (HCP) に対し、安定的にミックスキシレンを供給しています。HCPにおいては、パラキシレン製造装置の省エネルギー改造工事などによるコスト削減に取り組み、競争力強化を図っています。

業績推移



※議決権ベース: 52.7%

原油価格の下落等により2015年度のセグメント売上高は前年比70億円減の481億円となりました。一方、在庫評価を除くセグメント経常利益は、好調なエチレン市況およびHCPのコスト減少により、前年の70億円の損失から112億円改善し42億円の利益を計上しました。2016年度のセグメント売上高は前年比3,689億円増となる4,170億円を計画しています。丸善石油化学の連結子会社化に加えて、市況の回復や経費削減等により、在庫評価の影響を除くセグメント経常利益は、前年比28億円増の70億円を見込んでいます。

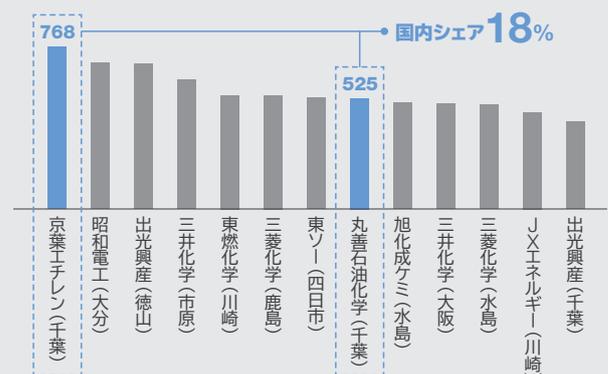
- 強み**
- 石油精製事業と石油化学事業の一体運営 (丸善石油化学の連結子会社化)
 - アジアで最大規模のパラキシレン製造装置におけるコスト競争力 (HCP)

長期の企業価値創造のための取り組み

当社は、2016年3月に持分法適用会社である丸善石油化学の株式を取得し、連結子会社化いたしました。丸善石油化学は、国内でも有数の規模を誇るエチレン生産能力を有し、高品質な製品を供給し続けるとともに強固な財務体質を有しています。

今後、コスモエネルギーグループは丸善石油化学とともに石油精製事業と石油化学事業の一体運営を進めて各事業の競争力強化を図っていきます。また、本件は、丸善石油化学を中心としたコンビナート全体 (コスモ石油-丸善石油化学-誘導品メーカー) の競争力強化にもつながるものと考えています。競争力強化の第1弾として、世界的な需要拡大が見込まれる水素化石油樹脂事業 (紙おむつなどの衛生材料) に関し、荒川化学工業と共同事業化の検討を開始しました。

国内のエチレン生産能力 (千トン/年)



※出所: 日本の石油化学工業2016 (定修スキップ年)
 ※京葉エチレンは丸善石油化学が55%出資する連結子会社